

えんがわ「みみづくの会」

高齢者の集いの場として新しい活動を始めました。

活動場所 春日町第3自治会集会所
七光台駅から徒歩で5~6分
「まめバス」五木新町ふれあい公園前
(公園内に併設)

今年度内の開催予定日は

令和8年 1月 8日 (木) 午前10:00~12:00
8年 2月 12日 (木) 午前10:00~12:00
8年 3月 12日 (木) 午前10:00~12:00
※ この後も、毎月第2木曜日に開催予定

参加申込みは不要です。開催時間の途中からでも参加は自由です。特に、加齢性難聴者の聞こえをサポートする難聴者用スピーカーを備えていますので、聞こえ難い人でも、補聴器を利用している人でも気兼ねなく自由にお話が弾むように工夫します。参加者同士の会話が弾み、親睦・交流を図ることが目的です。

出来るだけお互いの顔を見合わせる様に、話し手の口元が見えるよう着席します。難聴者用スピーカーをセットしますので、補聴器や集音器を利用してない人でも聞き取り易くなります。また、補聴器や集音器を持っていない人でも補聴援助機器のヒアリングループ受信器の貸し出しをしますので利用すればお話が聞き取り易くなります。既にご自分の補聴器に「Tコイルスイッチ」が付いている場合は、「T」に切り替えることでヒアリングループからの音声をハッキリと聞き取ることが出来ます。補聴器等を持っていない人でも、会話が聞き取りやすくなり、お互いに意思疎通がし易くなります。必ずマイクを持ってお話し下さるようにご協力をお願いします。

更に気楽にお互いの親睦が図れるように、カラオケ機器をセットして、参加者同士の親睦・交流・情報交換が図れるように工夫します。難聴が認知症の最大リスクなので、その予防対策と、健康維持のために「耳の体操」と「体調維持にリハビリ体操」(えだ豆体操)も体験していただきます。どうか遠慮無く見学にでもお越し下さい。

高齢者のためのちょっと立ち寄り おしゃべりサロン

えんがわ みみづくの会

ご存知ですか？「難聴が認知症の最大要因です」

認知症予防＝難聴対策「国的新プラン」

- ・高齢者の 約4人に1人が認知症、またはその予備軍。
- 高齢化の進展に伴い、認知症の人はさらに増加
- ・2012(平成24)年 462万人(約7人に1人)
　　⇒2025(令和7)年 約 700万人(約5人に1人)
- ・認知症の人を単に支えられる側と考えるのではなく、
　　認知症の人が認知症と共に、よりよく生きていくこと
　　が出来るような環境整備が必要。
- ・障害調整生命年という指標による分析によれば、
　　わが国の疾患群では、精神神経疾患のインパクトは
　　悪性腫瘍や心血管病を抜いて 1位になっています。

野田市中途失聴者・難聴者の集い
「みみづくの会」

ホームページ mimi-comm.com
連絡先：野田市春日町38-12 吉岡方
TEL : 04-7129-7303
FAX : 04-7127-8575 (FAX専用)
E-mail: hanbeiyoshi@jcom.zaq.ne.jp

新オレンジプラン

認知症施策推進総合戦略

- ✓ 高齢者の約4人に1人が認知症またはその予備群。高齢化の進展に伴い、認知症の人はさらに増加
- ✓ 2012(平成24)年 462万人(約7人に1人) ⇒ 2025(平成37)年 約700万人(約5人に1人)
- ✓ 認知症の人を単に支えられる側と考えるのではなく、認知症の人が認知症とともにによりよく生きていくことができるような環境整備が必要。
- ✓ 障害調整生命年(DALY)という指標による分析によれば、我が国の疾患群では精神神経疾患のインパクトは悪性腫瘍や心血管病を抜いて1位。

危険因子：加齢、遺伝、高血圧、糖尿病、頭部外傷、喫煙、難聴
防御因子：運動、食事、余暇活動、社会的参加、認知訓練、活発な精神活動（コミュニケーションツールとしての「補聴器」）

会話・聴こえを確認しながら、カラオケを楽しみ交流



難聴者用スピーカーとカラオケ機器設置 ヒアリングループシステムの利用

ヒアリングループシステムは、野田ガスホールの客席床面や野田市社会福祉協議会、南コミセンや北コミセンに備付けのループシステムがあります。利用は施設管理者に問合せ下さい。

専用受信器を借り出して、付属のイヤホンで試聴するか、受信可能なTコイル付補聴器なら、付属のボタンを「M」から「T」に切り替えて、ループ敷設内に着席して、聞いて下さい。そして、受信器を立てて持ち、ダイヤルで音量を調節して下さい。

補聴援助機器の使い方や文字通訳の利用方法

HP: mimi-comm.com



「みみづくの会」のHPスケジュール表には、
月々の例会の予定が表記されています。

参加は自由ですので、気楽にお立ち
寄りください。お待ちしています！

補聴援助機器と要約筆記の利用状況について

